
「A施設の看護師によるがん患者のアピランス相談と支援の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院のアピランス相談室で相談支援を行った患者さんの診療録からデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年11月1日から2024年4月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、アピランス相談室で看護師による相談、支援を受けられた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院ではがん患者さんのアピランスケアは各部署で行ってききましたが、令和5年度のアピランス支援事業モデルに参加し、各部署が独自に行ってきたアピランスケアを、組織的に行うためのアピランス相談室の開設を行い、2023年11月より相談、支援を行ってきました。相談、支援の実態を調査することで、院外の患者さんへの対応や、教育などを含めた体制の強化などシステム強化に向けた資料を得ることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの属性（性別、年齢、診療科、治療内容、入院患者・外来患者の有無、アピランス介入開始時期）

相談内容（脱毛、皮膚障害、爪障害、バディーイメージの変容、社会生活について）

支援内容（ウィッグ、ウィッグ以外の脱毛ケア、皮膚障害、爪障害、活用できる社会資源、補整下着、カバーメイク、コミュニケーションスキル）

その他（漠然とした不安、受け入れ困難、認知の変容など）

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である土屋 儀志子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテ及びがん患者アピアランス相談支援及び情報提供を行った病棟・外来看護師の実施記録しーとより以下の内容を集計します

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター D4HCU 病棟 土屋 儀志子（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター がん相談支援センター 今井 純子
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター E5 階病棟 小島 真奈美
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 指示医療科 高橋 孝郎

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

- ・ < 試料 > なし
- ・ < 情報 > D4HCU 病棟の施錠可能な机内で管理します

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター D4 階 HCU 土屋儀志子

住所：〒350 - 1298 埼玉県日高市山根 1297-1

電話：042-984-4407（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：A 施設の看護師によるがん患者のアピアランス相談と支援の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター D4 階 HCU 土屋儀志子